

高野香菜子先生 : N Engl J Med. 2010; 363: 233-244.

### **厳格な血糖管理は網膜症は減らせたか？ ACCORD 研究、続報！**

#### **Effects of Medical Therapies on Retinopathy Progression in Type 2 Diabetes**

【背景】厳格に血糖をコントロールすれば、心血管イベントを減らすことが出来ると信じて、行われた ACCORD 研究、逆に死亡率を増やしてしまい、3 年半で中止されてしまいましたが、次々と続報が発表されています。今回は、網膜症の進展阻止 (ACCORD-Eye study) の結果が報告されました。

【方法】心血管リスクを持つ 2 型糖尿病患者 10,251 名の中から、血糖厳格治療群 (HbA1c < 6.0% n=1429) vs 標準治療群 (HbA1c ; 7-7.9% n=1427) を割付、さらにその群を、脂質厳重治療群 (スタチン+フェのフィブラート群 (n=806) vs 標準治療群 (スタチンのみ n=787) / 血圧厳重管理群 (BP < 120 n=647) vs 標準治療群 (BP < 140 n=616) に割付けて、網膜症進展を ETRDS にて検討した。

【結果】4 年間の観察にて、光凝固 31 名、手術 10 名を含む 250 名の網膜症進展を認めましたが、厳格な血糖コントロールにより、網膜症進展は 7.3% であり、標準治療の 10.4% に比し、有意に進展を抑えていました。これまで、横紋筋融解のリスクのためあまり普及していない、スタチン+フィブラート治療群も、網膜症進展は 6.5% であり、スタチンのみ治療の 10.2% に比し、有意に進展を抑えていましたが、血圧が < 120 と < 140 では、網膜症進展に有意さを認めませんでした。

【結論】心血管ハイリスク患者の心血管イベント減少では、有意差をつけられなかった ACCORD 研究、網膜症では予想通り進展抑制を達成しました。高 TG や低 HDL を目標にした脂質管理が効果的だったのはうなずけますが、血圧管理では効果を認めなかったのは驚きでした。今後、高野眼科からのリピディル処方が増えそうです。(文責 阿比留)